

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	わんぱくクラブ駒沢			
○保護者評価実施期間	2026年1月15日		～	2026年2月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28世帯	(回答者数)	13世帯
○従業者評価実施期間	2026年1月15日		～	2026年2月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員がチームで協働して支援にあたっている。	毎日活動後にミーティングをスタッフ間で行い、その日の支援について振り返り、次に繋がるように積み重ねを行っている。子どもの心の動きを捉えること、支援で難しいと感じたこと、ヒヤリハットなどを日常的に共有することで、より良い連携ができるようにしている。	ミーティングに不在だったスタッフへの情報共有を漏れなく行うことが、ムラのない支援のためには必要不可欠。
2	遊びや活動の自由度が高い。	学校で1日頑張ってきた後に来所する放課後活動の場所という位置づけを大事にしている。自分のやりたい遊びに没頭できるよう、スタッフも一緒に遊びに身を置くことで、子ども達の目線に関わっている。プログラムや時間を細かく固定していないため、その状況に合わせて柔軟に活動を変えたり、新しく考え付いたことを実践したりができる。	自由さや柔軟さがある分、曖昧さに繋がり易い側面もある。事業所として目指す姿を明確にし、スタッフと共有したり、日々の支援や活動について検討したりする。学習会などの取り組みを強化する。活動のレパートリーが固定していないよう、様々なアイデアを取り入れて、開発していく。
3	遊びや活動を行う上での物的環境が整っている。	近隣に公園が多いこと、園庭があること、天井が広く複数の部屋があることなど、立地・建物面で、保育や発達保障の取り組みがしやすい環境にある。その環境を活かして、公園に小まめにしかけていったり、庭にプールや砂場を設置して五感に働きかける遊びを展開したりしている。	職員体制がより手厚くできると、死角を減らすために区切っている空間をフルに使いこなせると考えられる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの人材不足と高齢化が進んでいる。	募集をかけても、応募がなく、中々採用に至らない。法人全体の体力を踏まえると、他事業所との、給与・待遇面での大きな差別化が難しい。交通アクセスも悪いことが、人の集まりにくい状況に拍車をかけている。	近隣の大学生のボランティアや東京都が実施するインターンなど、地域資源に対して開かれた運営を行い、外部の受け入れを積極的に行っていきたい。処遇改善の加算分の反映も検討したい。
2	事業所の取り組み内容の周知が十分にできておらず、本アンケートでも「わからない」「どちらともいえない」の回答が多かった。	取り組み自体が弱いことと、取り組んでいるが情報共有の機会が不足していることの2点が挙げられる。	保護者会な事業所内のおたよりなどで、今取り組んでいることや課題、事業所としての方針などを保護者およびスタッフに周知することで、運営に関する理解を深める。
3	外部関係機関との繋がりが少ない。	自立支援協議会に所属しているが、定例会が活動時間中なので、出席できていない。相談支援事業所との繋がりはあるが、他の放デイ事業所、あるいは、学齢児の前後の時期に関わる事業所との連携が、十分に取れていない。	児童の支援に関する情報共有の場を、今後増やしていきたい。地域との関わりも、季節行事などを通じて、発展させることを考える。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 わんぱくクラブ駒沢

公表日 2026年3月26日

利用児童
数 28世帯30人

回収数 13世帯

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13				・お庭のある放デイは珍しく、外遊びも出来るのでありがたいです。 ・屋内が広いことはもちろん、お庭もあって子供がとても楽しそう	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	2		1	・他施設に比べて手厚いが、重度の児童を積極的に受け入れてくれているためその点ではもっと手厚くできると職員にとっても利用者にとっても良いと思われる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1	1		・フローリングは、下履きを履かないとやや汚い	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	2		1	・職員、スタッフの皆さんでよく情報共有されており、各子に応じた支援がされている印象です。 ・専門の方がいるわけではないと思う ・生活面での自立にご協力いただいて、とても助かってます。 ・伸び伸びと成長を見守ってくれ、問題行動が出た時などは子供が次に進めるよう促してくれる	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12			1	活動内容がわからない	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	2				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1			活動内容がわからない	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12			1	・季節ごとももちろん、日々の活動も様々な工夫がされている ・季節の行事はあるが、工夫されているかはわからない	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	3	6	・地域の子どもとの交流に必要性を感じません。それよりは、ストレスなく彼ら自身でいられる安心した場所であって欲しいです。世田谷区の学童父母連には加入されておられ、定期的にお便りをいただける事は保護者側として地域を知ることができありがたいです。 ・無くても良いと思っている	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					

保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思えますか。	13				他の事業所は分かりませんが、保護者とのコミュニケーションは多い方なのではないでしょうか。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	13				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	3			・家族への支援、活動は多い方だと思いますが、開催日が仕事のため、なかなか参加出来ず…開催日をいろんな曜日に振り分けていただけたら…と少しもどかしいです。 ・保護者会の運営もしっかりされている ・きょうだいの支援はあまりされていないと思う。しかしそもそも、きょうだい児自身も忙しい等、タイミングも難しいし、機会を設けても集まるとは考えにくい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1			苦情等の窓口がある事は私は聞いて知っているが、しっかり周知されているとまでは感じない。その他の普段の相談事は対応してくれているので、困ってはいない。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	13				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	12	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			4	訓練やマニュアルなどの存在も内容も知らない。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			4	保護者向けには災害伝言ダイヤルの練習が年に何度かあるが使い慣れないので、Hugのアプリを使った通知も検討いただけるとありがたいです。(災害時の通信状況次第ですが)
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	10			3	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	11	1		1	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13				・一定の苦手な人やことはある。困難な時もあるが、他の福祉事業所利用含めてトータルで見ると一定の安心はあるとは思われる。 ・こどもはとてもこの施設が大好きで楽しみに通っています
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	1			楽しみな時と消極的なことがあり、状況でかわる。本人の意思表示が難しいため、程度と気持ちの把握が客観的に判断しにくい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				施設の職員の方々の温かいご支援にとても感謝しております

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	わんぱくクラブ駒沢		公表日 2026年3月26日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	何かあった時、別に隔離できる部屋がある 子どもの状態に応じて部屋を使い分けている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	2	曜日により利用者と職員数に差があり、職員<児童の数が多い場合に、児童への個別の対応が難しい時がある。 常に子供2に対し1名くらいはスタッフがついている 職員の増員が望まれる	支援度の高い子が多いため、スタッフの数を増やしていく必要がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	概ね綺麗な環境であるが、職員の清掃時間が児童の降所後20~30分程度に限られているため、突き詰めた清掃が出来ていない現状もある。陽が入り、明るく、庭での活動もできる	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	感情が不安定になった場合などに、当該児童が退避出来るスペースがある。本人の意思も尊重し、移動して過ごすことが出来る。個別の部屋、着替えの空間がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	情報共有する時間や治具の強化 この活動が行われているかどうか不明。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	日々の反省会。毎日一日の問題点を報告し合う。 毎日のミーティングで真摯な意見交換と状況情報の共有が図られている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2		第三者評価は本年度に受審済。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	法人内でも適宜研修が行われている。外部研修も周知される。研修が定期的にある	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	2	職員とアルバイト間での共有不明	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	3	不明 毎日の振り返り報告	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	2	不明 毎日報告をし合う	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	2	不明	

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	不明	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	飽きないように子供達が楽しめるようにしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	前半が個別、後半がお菓子の班活動、手遊びなどの集団遊びなど	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	情報の共有、役割分担の確認	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	1人1人の活動報告の記入	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	記録を取った後の振り返りの時間が設けられていないため、振り返り、職員間で共有する時間があれば、さらに児童への理解が深まると思う。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	2	不明	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3	協力医療機関との連携は不明	協力医療機関を定めているが、周知不足のため、改めて確認する。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3	不明	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6		児童や活動の状況から、地域の子と交流する機会は設けづらい面がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2	不明	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3	不明		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	2	不明	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	2	不明	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1	不明	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	1		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1	不明	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	1	職員が把握していても、アルバイトに周知されていない場合もある。毎日の報告	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	不明	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2	不明	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2	不明	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	毎回 終わった後に報告と共有	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	研修への参加がある	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。					